

入浴用品の

カビ対策



安^{あんじゅ}寿

カビはどうしてできる？

カビは、温度、湿度、栄養、酸素という4つの条件が整うことで発生します。



カビの発生



目に見えているときにはすでに多くの胞子の繁殖が進んでいます…



カビは放置しておくと繁殖を続け、なかなか落とすことができません。
まず、**カビが発生しにくい環境を作ることが大切です。**

カビの予防方法

1 熱いお湯

熱いお湯(40℃～60℃)をかけ、湯垢などを溶かします。

(注) やけどには十分にご注意ください。



2 冷たい水

次に冷たい水をかけます。熱気がこもらないように冷やします。



3 乾燥

最後に水気を拭き取り、直射日光をさけて風通しのよい環境で乾燥させてください。



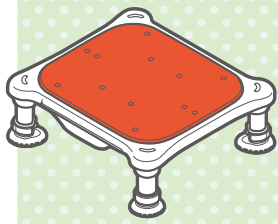
部品にカビが生えてしまったときはどうしたらいい？



一度発生したカビは落とすことが難しいので、別売りの部品に交換してください。
※市販のカビ取り剤の使用は控えてください。

交換部品はこちら

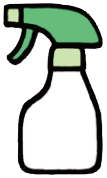




おそうじの方法 浴槽台編



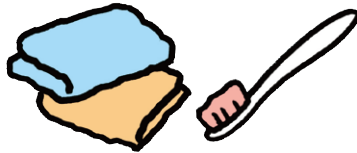
用意する洗剤・道具



中性洗剤



スポンジ



やわらかい布



歯ブラシ



次の道具、洗剤は製品が劣化するおそれがありますので使用しないでください。

- タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等
- 塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等
- 消毒用アルコール(エタノール)以外の消毒薬剤

ふだんのおそうじ

スポンジや、水に濡らして十分に絞ったやわらかい布に、薄めた中性洗剤をつけてそうじしてください。
水気を拭き取り、風通しのよいところで乾かします。

天板

毎回使用後に、すすいで布で水気を拭き取ります。
ぬめり、水垢が発生したときは薄めた中性洗剤をスポンジに含ませて洗ってください。



脚ゴム・吸盤

切り込みを入れたスポンジか歯ブラシで洗うと便利です。



浴槽台の吸盤の吸着力が低下してきた



浴槽台が滑ってけがの原因になる可能性がありますので、新しい部品に交換してください。

交換部品はこちら



アロン化成

(お問い合わせは)

アロン化成株式会社 ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-8-6 住友不動産日比谷ビル 8 階